

Corporate Profile

セイコーエプソン株式会社 会社案内 2023/2024

創業以来、独自の技術により新たな価値を創り、人々の生活を変えてきました。



世界初のクォーツウォッチ



インクジェットプリンター



液晶データプロジェクター



オフィスでの省電力に貢献する
高速ラインインクジェット複合機



紙をその場で再生する
乾式オフィス製紙機



自動化の加速に貢献する
スカロロボット



アナログ捺染の環境負荷低減を実現する
インクジェットデジタル捺染機

1942年

始まりは
“時計”
の製造から

1969年

正確な時間を
人々の日常に

当時

機械式腕時計は
一日に何秒もずれるのが
当たり前

1994年

家庭でも気軽に
写真印刷を

当時

写真印刷は
写真店で

プレゼンテーション
の方法を革新

当時

紙またはOHP
を使って説明

2010年～現在

お客様の期待を超える
新たな価値創出へ

創業以来、独自の技術により新たな価値を創り、
人と地球を豊かに彩ってきました。



プリンティング
ソリューションズ

ビジュアル
コミュニケーション

マニファクチャ
リング関連・
ウェアラブル

創業期

誠実努力

ウォッチ技術の開発・確立と
プリンター技術の開発

事業
拡大期

創造と挑戦

ウォッチ、計時技術からの派生技術を核にした
商品・事業の多角化

事業構造の
強化

誠実努力・創造と挑戦

真のお客様の期待に応え、
なくてはならない会社を目指す

社会課題解決への貢献

社会課題解決を起点とした事業拡大
「Epson 25 Renewed」

売上収益(連結)
(2022年度)

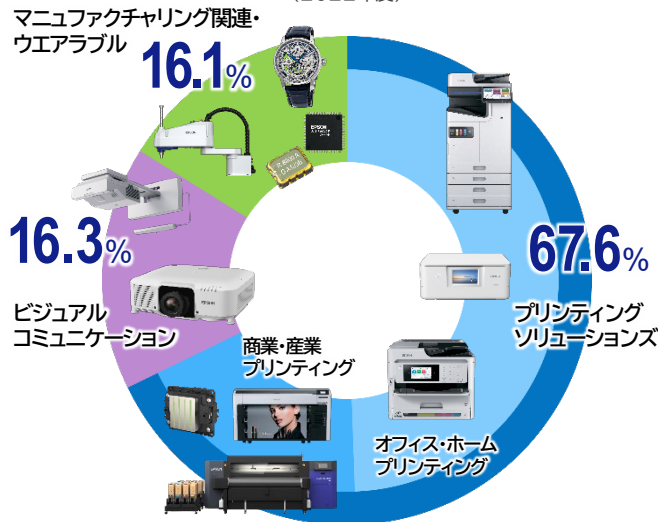
13,303億円

事業利益
(2022年度)

951億円

※事業利益は売上収益から売上原価、販売費
及び一般管理費を控除して算出しており、日本
基準の営業利益とほぼ同じ概念

事業別売上収益構成比
(2022年度)



イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ事業		ビジュアル コミュニケーション 事業	マニファクチャリング関連・ウェアラブル事業			
事業	オフィス・ホーム プリンティング 事業	商業・産業 プリンティング 事業	ビジュアル コミュニケーション 事業	マニファクチャリング ソリューションズ 事業	ウェアラブル 機器事業	マイクロデバイス 事業 他	PC事業
主な技術	マイクロビエゾ技術 ドライファイバーテクノロジー		マイクロディスプレイ 技術 プロジェクション 技術	精密メカトロ技術 高精度センシング技術 ソフトウェア技術 超微細・超精密加工技術 高密度実装技術 低消費電力技術			
主な事業内容	オフィス・ホーム用 インクジェットプリンター シリアルインパクトドット マトリクスプリンター ページプリンター カラーイメージスキャナー 乾式オフィス製紙機 これらの消耗品など	商業・産業用 インクジェットプリンター インクジェットプリントヘッド POSシステム関連製品 ラベルプリンター これらの消耗品など	液晶プロジェクター スマートグラスなど	産業用ロボット 小型射出成形機など	ウオッチ ウオッチムーブメント など	水晶デバイス 水晶振動子 水晶発振器 水晶センサーなど 半導体 (CMOS LSなど) 金属粉末 表面処理加工	PCなど

経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた、なくてはならない会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

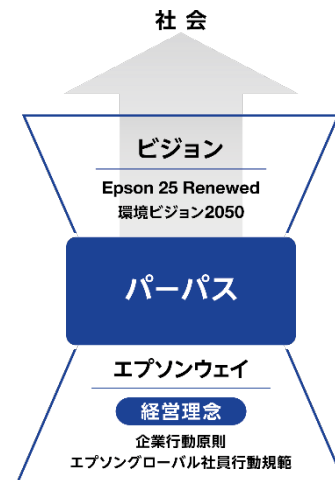
EXCEED YOUR VISION

私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。

「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。
そんな私たちが抱き続けてきたもの、
それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、
そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。
これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、
誠実に取り組んできました。
そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。
大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。
省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、
これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと思っています。
「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。
私たちは、そんな想いを実現していきます。

エプソンのあらゆる企業活動の中心にはパーパスがあります。このパーパス『省・小・精』から生み出す価値で人と地球を豊かに彩る』は、エプソンが社会に対してどのような価値を提供する存在であるかを定めるとともに、エプソンならではの存在意義と志を社内外に示すため、2022年9月に制定されました。そして、エプソンは、グループの価値観・行動様式を定めた「エプソンウェイ」の普遍的な考え方である経営理念を礎とし、ビジョンによりパーパスを実現することで社会へと新しい価値を提供します。これにより、将来にわたって持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。



パーパス『省・小・精』から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る』を実践し、 迷うことなく前進していきます

私たちエプソンは、創業以来培ってきた「省・小・精の技術」をベースに、お客様の期待を超える商品・サービスをお届けするべく、創造と挑戦を重ねてきました。

現在、気候変動や世界的なインフレの継続など、社会はさまざまな課題に直面しています。人々がより豊かな生活を求める中で、物質的、経済的な豊かさに重点が置かれ、どちらかというと、自分たちだけが豊かになるという考えに、多くの社会課題の原因があったのかもしれない。しかし、これからは自分たちだけでなく、地球全体がより豊かになること、物質的、経済的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさ、文化的な豊かさも含めた「こころの豊かさ」が望まれるのだと思います。

エプソンがこれまで大切に磨き上げてきた「省・小・精」とは、技術のみでなく、無駄を省き、より小さく、より精緻にするという考え方であり、そこからより大きな社会的な価値を生み出せると信じています。すなわち、“Less is more”という考え方です。これからもエプソンならではの「省・小・精」にこだわり続け、そこから生み出される大きな価値で、地球環境問題をはじめとするさまざまな社会課題の克服に立ち向かい、人と地球が豊かに彩られる未来を共に実現していきたいと考えています。

こうした想いを込め、昨年度に制定したエプソンのパーパス『省・小・精』から生み出す価値で、人と地球を豊かに彩る』を実践し、お客様やパートナーの皆さまと共に「持続可能でこころ豊かな社会の実現」に向けて前進していきます。



セイコーエプソン株式会社
代表取締役社長 CEO

小川 恭範



2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源*1消費ゼロ」を達成し、 持続可能でこころ豊かな社会を実現する

*1 原油、金属などの枯渇性資源

達成目標

- 2030年：1.5℃シナリオ*2に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源*1消費ゼロ」

アクション

- 商品・サービスやサプライチェーンにおける環境負荷の低減
- オープンで独創的なイノベーションによる循環型経済の牽引と産業構造の革新
- 国際的な環境保全活動への貢献

*1 原油、金属などの枯渇性資源

*2 SBTイニシアチブ(Science Based Targets initiative)のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標



エプソンは、社会課題を起点に、自社が貢献できるマテリアリティを特定しています。独自のコア技術をベースにイノベーションを起こし、社会・環境・経済価値を提供することで社会課題を解決し、持続可能でこころ豊かな社会を実現します。これはSDGs(持続可能な開発目標)と目的を同じくするものであり、私たちのパーパスに込められた想いをどのように実現していくかを示したものです。

持続可能でこころ豊かな社会



¹⁾ 2030年度までにGHG排出量を200万トン以上削減(2017年度比55%削減)

²⁾ 2023年度までにRE100達成

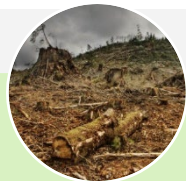
³⁾ 2021年の特許公開件数ランキング(当社調べ)(2021/1/1~12/31)

⁴⁾ 2020年度比

⁵⁾ 売上収益事業利益率

⁶⁾ 投資資本利益率

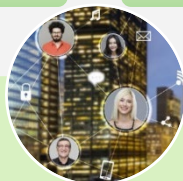
【社会課題】



環境負荷の低減



労働環境の改善



分散型社会
をつなげる



インフラ・教育・サービスに
おける質の向上



ライフスタイルの
多様化

【マテリアリティ】

社会課題解決に向け、「循環型経済の牽引」「産業構造の革新」「生活の質向上」「社会的責任の遂行」を重要テーマとして取り組みます。



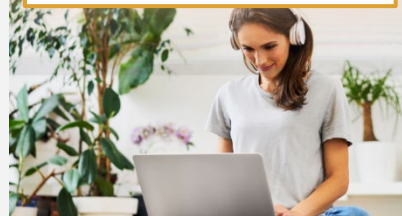
循環型経済の牽引



産業構造の革新



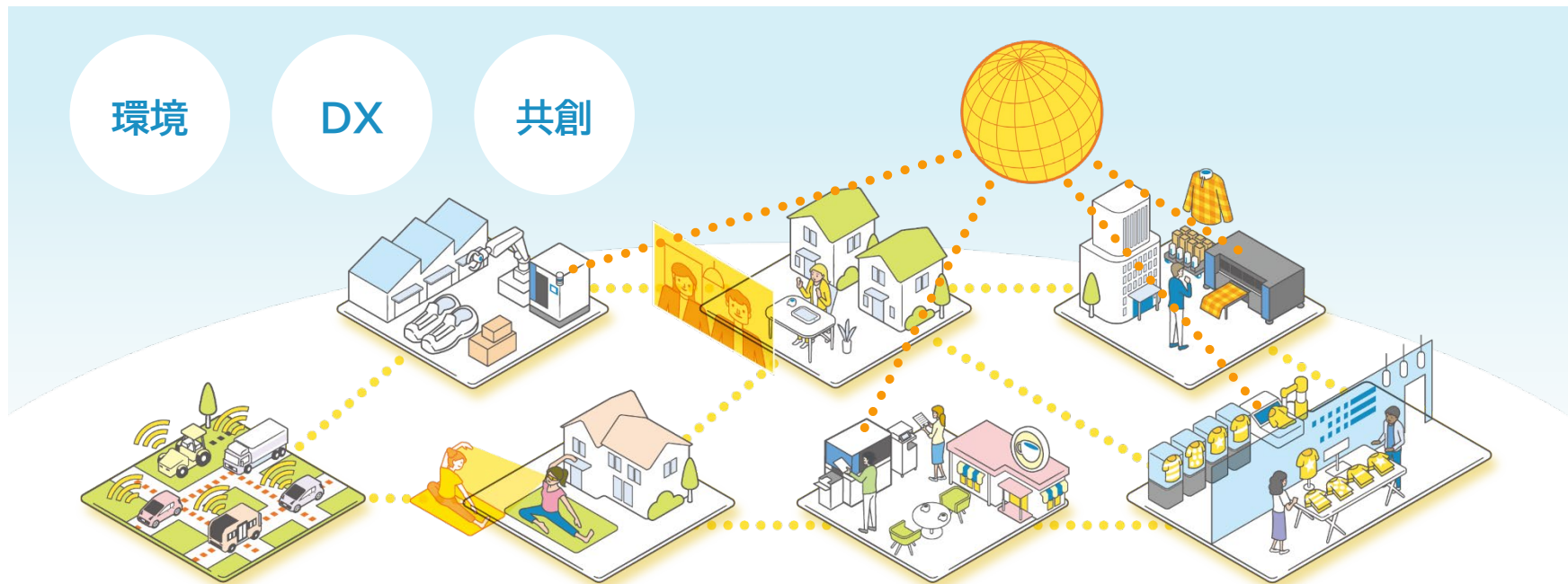
生活の質向上



社会的責任の遂行



「省・小・精の技術」とデジタル技術で
人・モノ・情報がつながる、持続可能でこころ豊かな社会を共創する



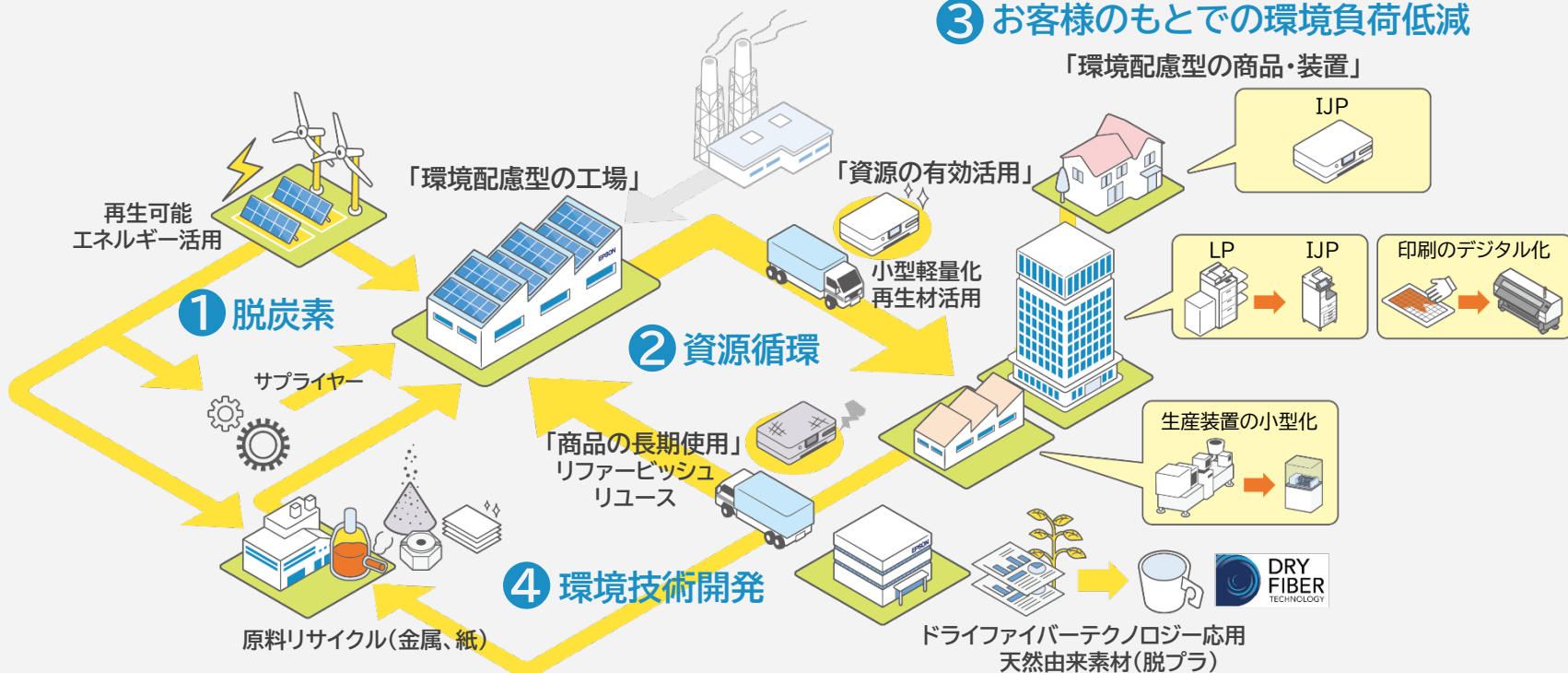


環境

「脱炭素」と「資源循環」に取り組むとともに、
環境負荷低減を実現する商品・サービスの提供、環境技術の開発を推進します。

③ お客様のもとでの環境負荷低減

「環境配慮型の商品・装置」



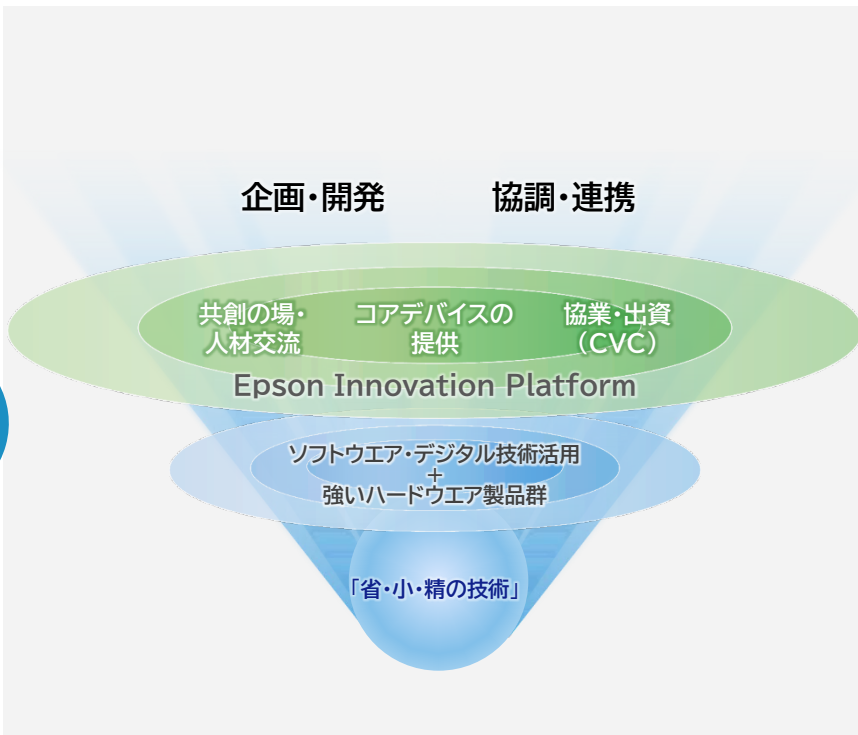
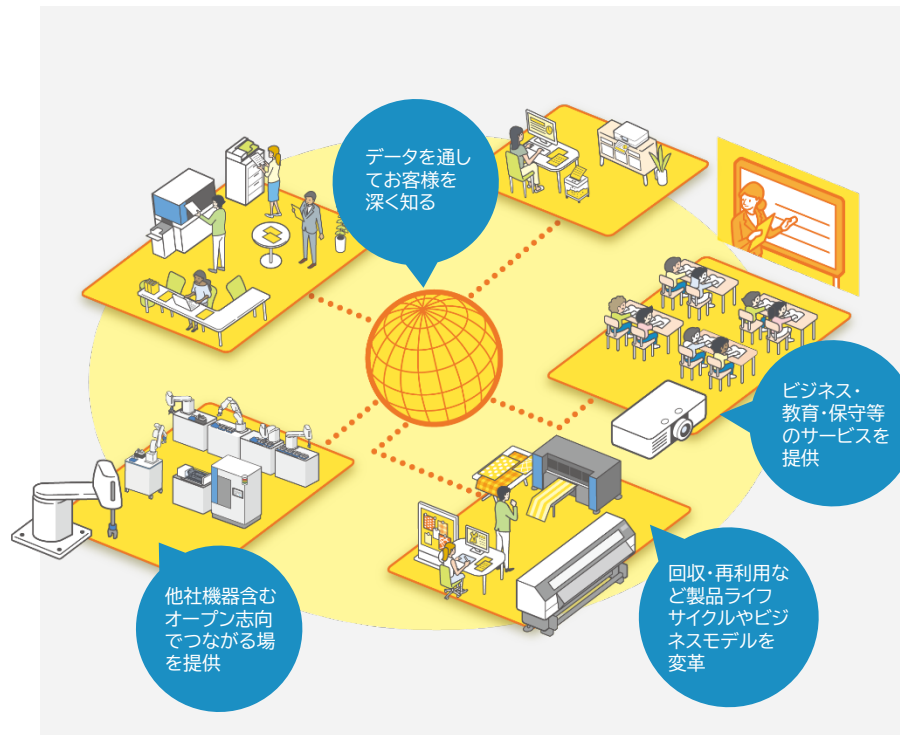


DX

強固なデジタルプラットフォームを構築し、人・モノ・情報をつなげ、お客様のニーズに寄り添い続けるソリューションを共創し、カスタマーサクセスに貢献します。

共創

技術、製品群をベースとし、共創の場・人材交流、コアデバイスの提供、協業・出資を通して、さまざまなパートナーと社会課題の解決につなげます。





5つのイノベーション領域を設定し、戦略を推進します。

成長領域

環境変化を機会と捉えて
経営資源投下

成熟領域

構造改革や効率化など
により収益性重視

新領域

新たな技術・ビジネス開発
に取り組む

オフィス・ホーム
プリンティング
イノベーション

オフィス
プリンティング

ホーム
プリンティング

商業・産業
プリンティング
イノベーション

商業・産業
プリンティング

プリントヘッド
外販

マニファクチャリング
イノベーション

生産システム

ビジュアル
イノベーション

プロジェクション

ライフスタイル
イノベーション

センシング

ウオッチ

環境
ビジネス

マイクロデバイス



インクジェット技術・紙再生技術とオープンなソリューションにより、 環境負荷低減・生産性向上を実現し、分散化に対応した印刷の進化を主導します。



循環型経済の牽引

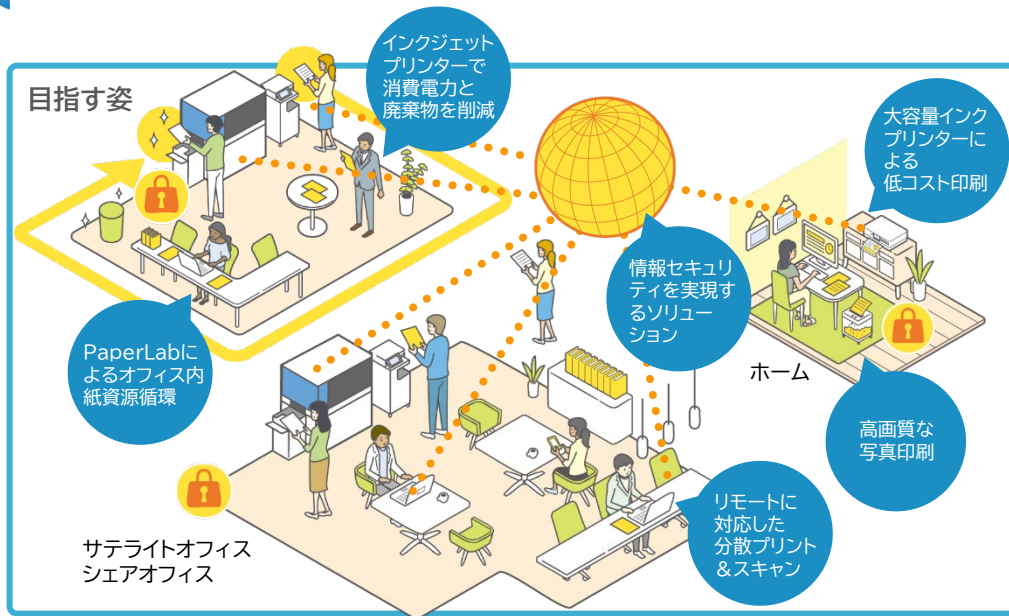


産業構造の革新



生活の質向上

目指す姿



取り組み

- 環境負荷低減・生産性向上・印刷コスト低減を実現するインクジェット製品の提供
- 製品ラインアップ拡大とソリューション提供、環境性能の訴求による、レーザーからインクジェットへのテクノロジーシフトを実現
- 紙資源循環、プリンター再生・リサイクルを加速
- オフィスの分散化や教育ニーズの高まりに対応するソリューションを共創
- 大容量インクプリンターのラインアップ強化と価値の訴求

商品ラインアップ

オフィス・ホーム用インクジェットプリンター、
シリアルインパクトドットマトリクスプリンター (SIDM)、
ページプリンター、カラーイメージスキャナー、
乾式オフィス製紙機など



高速ライン
インクジェット
複合機



ビジネスインクジェット
複合機



大容量インクタンク搭載
インクジェットプリンター



乾式オフィス製紙機 PaperLab



インクジェット技術と多様なソリューションにより、
印刷のデジタル化を主導し、環境負荷低減・生産性向上を実現します。



循環型経済の牽引



産業構造の革新



生活の質向上

目指す姿

オフショア

ニアショア・オンショア



取り組み

- インクジェット技術とデジタルソリューションを組合せプラットフォーム化
- 完成品ビジネスは、広範なニーズに応えるラインアップを一気に拡大すると同時にデータ活用による顧客支援のソリューションを提供
- プリントヘッド外販ビジネスは、周辺技術を含めたソリューションの提供によるシェア拡大と共創による新規市場開拓
- 小型プリンター*は、流通・決済の変化に応じた製品・ソリューションの提供

* POSプリンター

商品
ライン
アップ

商業・産業用インクジェットプリンター、
インクジェットプリントヘッド、POSシステム関連製品、
ラベルプリンターなど



大判インクジェット
プリンター



インクジェットデジタル捺染機



インクジェットデジタルラベル
印刷機



インクジェット
プリントヘッド



環境負荷に配慮した「生産性・柔軟性が高い生産システム」を共創し、
ものづくりを革新します。



循環型経済の牽引

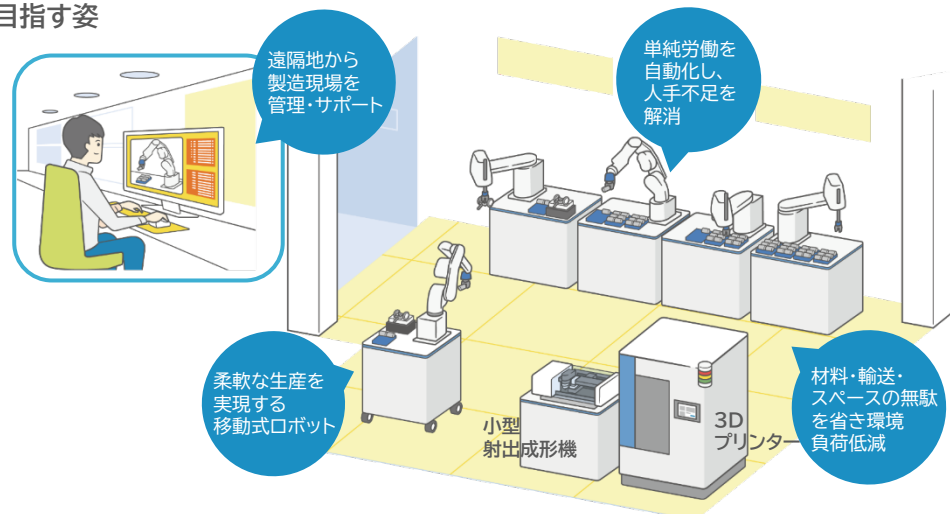


産業構造の革新



生活の質向上

目指す姿



取り組み

- 次世代プラットフォームを開発し競争力ある製品を拡充
- センシング技術とデジタル技術を応用したものづくりの自動化
- 環境負荷低減を実現する新生産装置の拡充
(小型射出成形機、3Dプリンター、立体面印刷装置、ドライファイバー生産機など)
- 顧客支援：導入前～稼働中～回収までをトータルにアシスト

商 品
ライン
アップ

産業用ロボット、力覚センサー、小型射出成形機



スカラロボット



6軸ロボット 力覚センサー／分光カメラ



小型射出成形機



感動の映像体験と快適なビジュアルコミュニケーションで
人・モノ・情報・サービスをつなぎ、「学び・働き・暮らし」を支援します。



循環型経済の牽引



産業構造の革新



生活の質向上

目指す姿



取り組み

- 高画質な大画面とスマート化により使用環境・用途・シーンを拡大
- パートナーとの連携強化により、さらに質の高いICT教育環境を提供
- 光による空間演出・アートへの展開

商
品
ラ
イ
ン
ア
ッ
プ

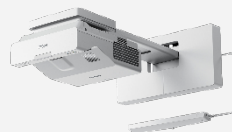
プロジェクター、スマートグラスなど



高輝度モデル



レーザー光源採用軽量コンパクトモデル



超短焦点壁掛け対応モデル



ホームプロジェクター



スマートグラス



匠の技能、センシング技術を活用したソリューションを共創し、
お客様の多様なライフスタイルを彩ります。

ウオッチ

目指す姿

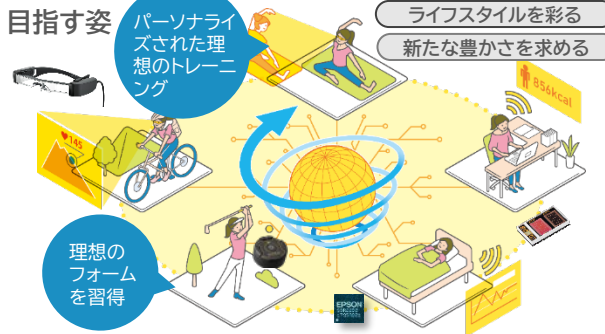


取り組み

- 感性に訴えるデザイン・高品質な製品を、お値打ち感ある価格で提供
- ライフスタイルの変化に即応するオペレーション

センシング

目指す姿



取り組み

- センシング技術・分析アルゴリズム・マイクロディスプレイなどを活用した新たな価値を共創
- パーソナライズされた健康支援や安心・安全サービスなどの提供



循環型経済の牽引



産業構造の革新



生活の質向上

商
品
ラ
イ
ン
ア
ッ
プ



ORIENT STAR

セイコーウオッチ
向けビジネス
企画・販売:
セイコーウオッチ(株)

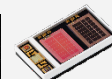
商
品
ラ
イ
ン
ア
ッ
プ



スマートグラス
光学モジュール



M-Tracer
(モーションセンシング)



センシングデバイス



「省・小・精の技術」を極めた水晶・半導体ソリューションにより、スマート化する社会の実現に貢献します。



循環型経済の牽引



産業構造の革新



生活の質向上

目指す姿



取り組み

- 社会インフラのスマート化を実現する省電力・小型・高精度なデバイス開発
- 水晶・半導体技術を融合し、アプリケーションごとに最適ソリューションを提案
- 独自の水晶・半導体技術を極め、エプソン完成品の価値向上を支える

商品 ライン アップ

【マイクロデバイス事業】

水晶デバイス(水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)、半導体、センシング機器

【その他】微細合金粉末、表面処理加工 他



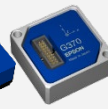
温度補償水晶発振器 (TCXO)



ジャイロセンサー



センシングシステム



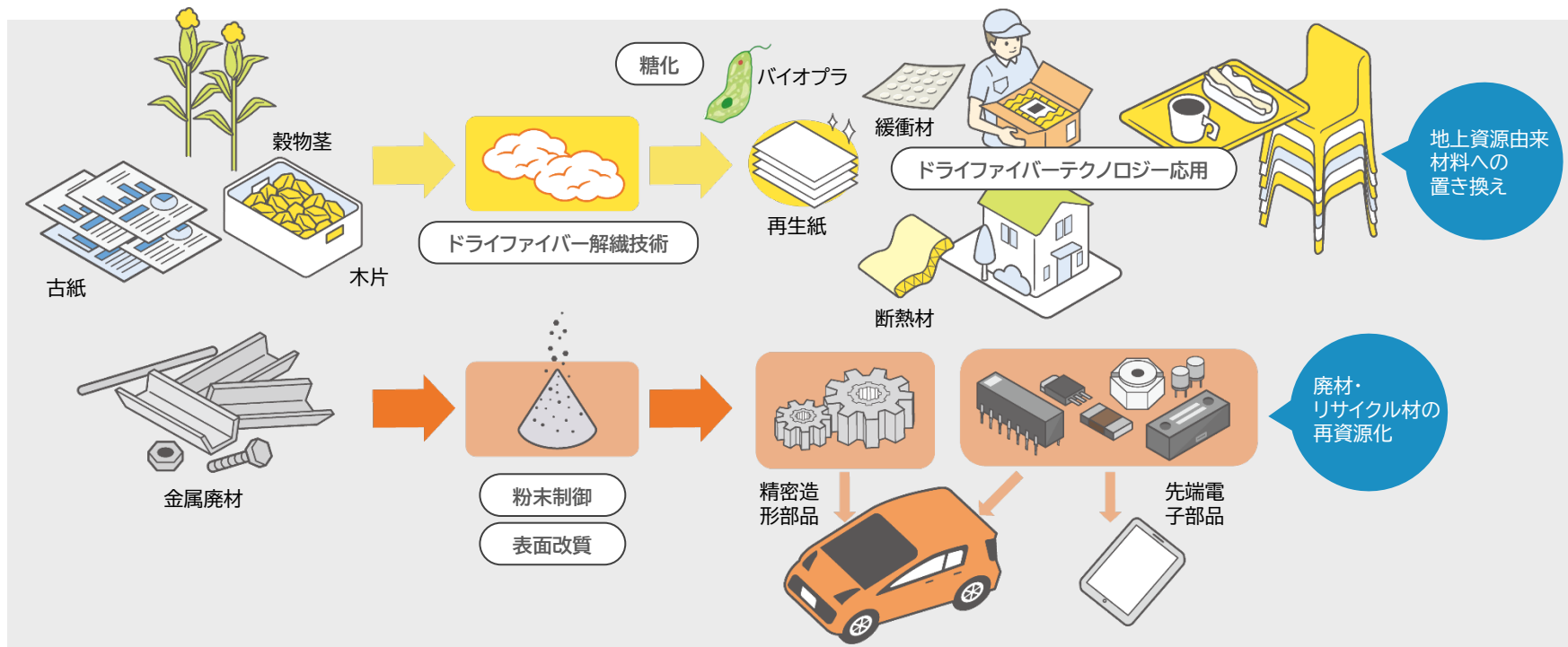
特定用途向け集積回路(ASIC)



微細合金粉末

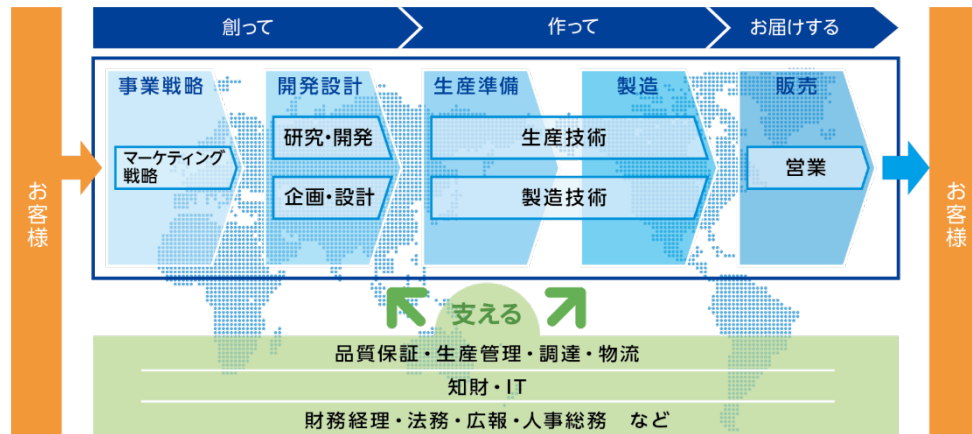
材料技術の融合により、環境ソリューションビジネスを創出し、 脱炭素と資源循環に貢献する

-  循環型経済の牽引
-  産業構造の革新
-  生活の質向上





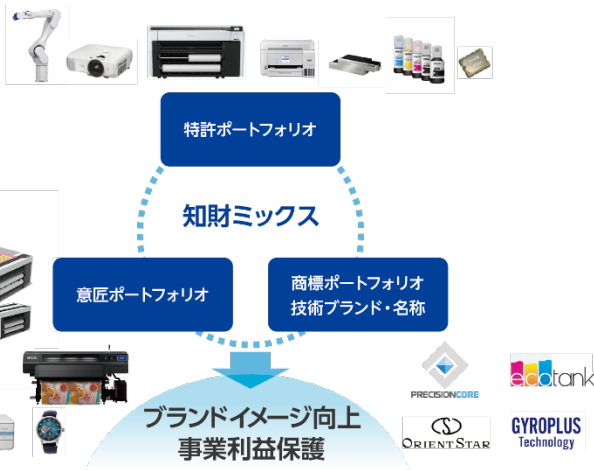
企画から販売まで、さまざまな役割を担う社員が、世界中のパートナーと力を合わせ、社会課題の解決に取り組んでいます。



最適な仕事を最適な人材が担いながら、世界中のエプソンに属する社員の総合力を結集し、長期ビジョン「Epson 25 Renewed」の実現を目指しています。



特許に加え、デザインを意匠で、コア技術の名称を商標で、保護する知財ミックス戦略を展開。戦略を進める上で重要な資産である独自のコア技術を圧倒的な特許件数で保護しています。



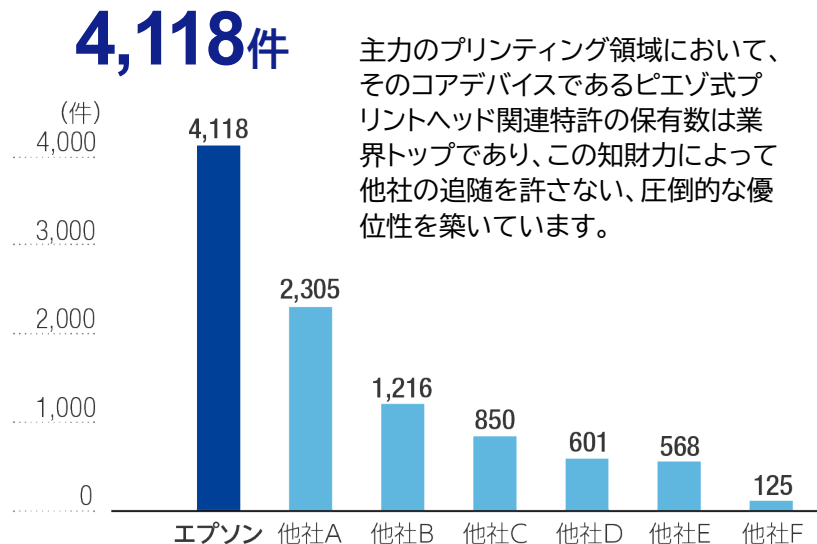
価値を生み出すコア技術、独創のデザイン、これらをブランド化した商標を確実に保護するポートフォリオを構築。これにより、自社ブランドの優位性を維持向上させ、安定した事業運営を継続を可能にしています。

● 分野別特許出願件数ランキング

日本	
インクジェットプリンター	1位
プロジェクター	1位
ロボティクス	2位
水晶デバイス	1位
米国	
インクジェットプリンター	2位
プロジェクター	1位
ロボティクス	3位
水晶デバイス	2位

※2021年の特許公開件数(当社調べ)

● 独自のコア技術を生かした ピエゾ式プリントヘッド関係特許保有数



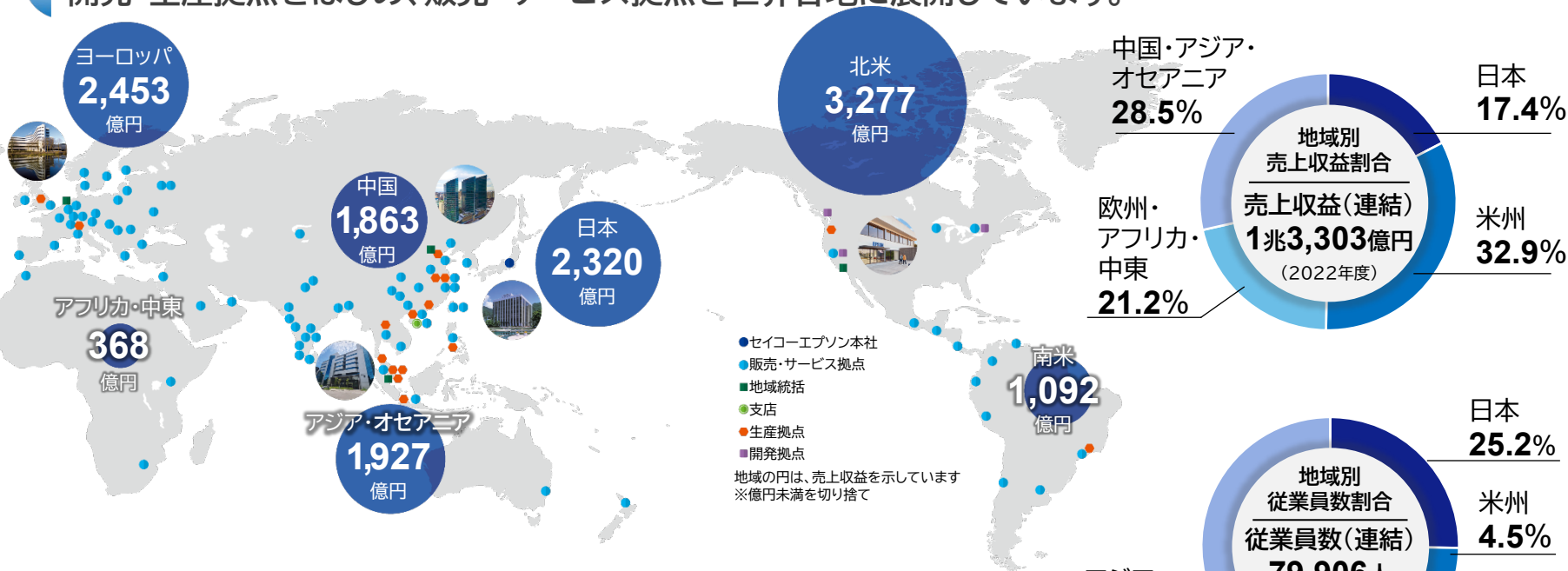
主力のプリンティング領域において、そのコアデバイスであるピエゾ式プリントヘッド関連特許の保有数は業界トップであり、この知財力によって他社の追随を許さない、圧倒的な優位性を築いています。

* 2022年7月20日現在、エプソン調べ

* 出願日2002年7月1日以降の日本、米国、中国、欧州登録特許件数



さまざまなお客様ニーズを的確に把握し、素早く、柔軟に対応すべく、
開発・生産拠点をはじめ、販売・サービス拠点を世界各地に展開しています。



エプソングループ会社数 (2023年3月31日現在)

81社(当社含む) 国内 20社、海外 61社

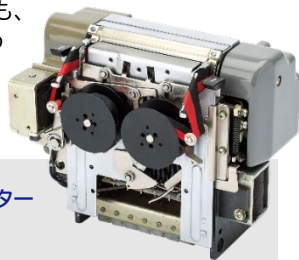
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入

商 号	セイコーエプソン株式会社
設 立	1942年5月18日
本 社	長野県諏訪市大和三丁目3番5号
資本金	532億400万円

「EPSON」の由来

EP + SON = 「EPSON」

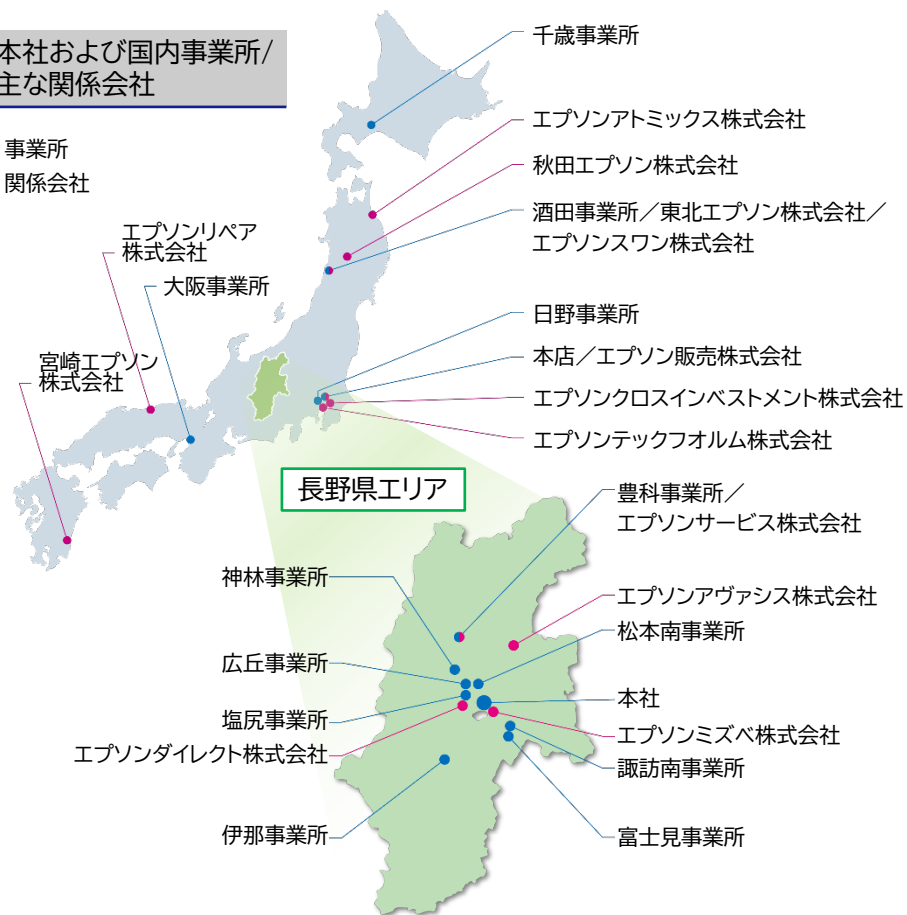
「EPSON」というブランド名称は、事業領域を広げる発端となった「EP-101」が由来です。
「EP(Electric Printer)」が新しい価値をお客様に提供したように、さまざまな分野で、価値ある製品・サービスである子ども、「SON」を多く生み出し続けていこうという思いが込められています。



世界初の小型軽量デジタルプリンター
「EP-101」

本社および国内事業所/ 主な関係会社

- 事業所
- 関係会社



EPSON

エプソンコーポレートサイト
<https://corporate.epson>



エプソン製品(日本)サイト
<https://www.epson.jp/>



エプソン公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/EpsonJP>



エプソン公式動画チャンネル
<https://www.youtube.com/user/epsoncorpjp>



採用情報
<https://corporate.epson/ja/careers/>

